

石家庄市派遣研修報告書

竹倉 龍之介

研修先：石家庄学院

研修期間：2023年9月~2023年12月

1 研修先について

長野市の友好都市である中国石家庄市への派遣研修に参加させていただきました。石家庄市は中国河北省の南方に位置しています。私は石家庄市にある石家庄学院の留学生寮に約3カ月間半滞在しました。石家庄学院には約1万7千人の生徒が在学しています。学校の面積はおよそ40万㎡もあり東京ドーム4.7個分に相当します。北キャンパスと南キャンパスがあり、学校内に寮や食堂、スーパーマーケット、図書館などがあるので学習に集中できる環境が整っています。また、競技場やジムなどの運動施設も充実しています。

滞在した石家庄学院の留学生寮は1階が男性部屋、2階が女性部屋と教室、3階には共同キッチンやコミュニティースペースがありました。滞在中は東ティモールから留学中の学生4名と生活を共にしました。部屋は一人部屋で各部屋内にはエアコンや“暖气”と呼ばれる暖房設備があり、季節を問わず快適に生活することができました。

食堂は学生食堂と教員食堂があり、朝6時頃から夜20時頃まで営業していました。QRコード決済が使用できたので、多くの学生が食堂を利用する際もスムーズに注文をすることができました。メニュー量も豊富で、火鍋、ハンバーガー店、タピオカチェーン店などがありました。一回の食事は10元程度(約200円)なので安価で多様な料理を楽しむことができます。

学校内のスーパーマーケットには生活必需品や食料品が豊富にありました。支払いも現金やQRコード決済が利用できるので便利でした。



2 語学学習

石家庄学院では、前半の2カ月間と後半の2カ月間に分けたプログラムに沿って授業を受けました。1コマは90分程度で、前半の2カ月間は中国語の基礎から学習を始めました。研修生2人と先生の3人での授業で、発音練習や文法問題、文章読解の練習を行いました。分からない問題をその場で質問し解決することが出来ました。発音授業では間違っている場合は直ぐに訂正してアウトプットすることができたのでとても充実した内容でした。

授業内で日本語学科の学生と交流する機会も多くあり、お互いの国の文化や現代の流行などを相互学習し、理解を深め合いました。授業後には学生と火鍋店やショッピングモールへ出掛けるなど交流を深め合いました。

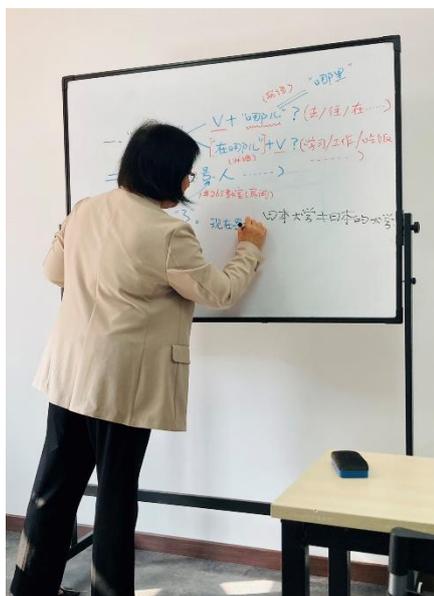
後半の2カ月間は本科生の受講している講義に参加しました。各講義を自由に選択する事ができた為、興味がある授業に参加しました。現代中国語や食文化についての講義や、卓球や伝統中国拳法といったスポーツ科目を選択する事も可能でした。

日本研修生研修课程表

Study schedule

単位：石家庄学院 文史学院 時間：2023年8—12月

	星期一 Mon	星期二 Tues	星期三 Wed	星期四 Thurs	星期五 Fri
1.2 节	儒家经典导读 (北校区/主教学楼 3 楼东阶梯)	日语视听 说 1 (23 级本/南校 区 1#215)	商务英语实务 (南校区 /1#268/)	商务英 语写作 1 (22 级 本科/ 南校 区 1#265)	商务英 语写作 1 (23 级接 本/南校 区 1#268)
3.4.5 节	基础日语 1 (23 级本科/ 南校区 1#449)	口语 Oral expression	汉语综合 Comprehensive Course	听力 Listening	笔译理论 与实践 1 (21 级本 科/南校 区 1#244)
中 午					
6.7.8 节	汉语综合 Comprehensive Course	现代汉语 1 (北校区/ 主教学楼 409)	日语会话 3 (22 级本科/ 南 校 1#245)		
9.10 节		现代汉语 1 (北校区/ 主教学楼 409)	传统体育养生 Traditional Sports and Health		汉语口语 沙龙 Spoken Chinese salon



3 石家庄市内生活環境

石家庄学院周辺には徒歩5分程の場所にショッピングモールやスーパーマーケットがあり、気軽に利用できました。火鍋チェーン店やタピオカ店も多く、学生が多く利用していました。

公共の移動手段は、地下鉄、公共バス、電動バイク、シェアサイクル、タクシーなどがあり乗車料金も安い為、移動の際は気軽に利用しました。利用する際にはICカードやAlipayや専用アプリで決済をします。地下鉄は現金で乗車カードを購入した後に乗車することも可能でした。石家庄市では毎週木曜日は公共バスの乗車料金が無料となり、どこでも乗り降り自由でした。今回の研修中には12月下旬に大雪となり、2023年12月16日から2024年1月1日の期間は地下鉄や公共バスは完全無料で乗車することが出来ました。

道路や地下鉄には警察や警備員が安全管理の為、車の誘導や取り締まりを行っています。電動バイクに乗車する際はヘルメットの着用が義務付けられて

いるので着用せずに乗車している場合は罰金を支払う必要があります。地下鉄道に乗車の際には必ず荷物のX線チェックがあります。不審な荷物や開封済みの度数の高いアルコール飲料、モバイルバッテリーなどが不定期にチェックされます。

シェアサイクルやシェア電動バイクは日本より普及しています。値段は一回1元から3元程度で、1カ月の定期券を購入すると何回でも乗り放題のコースもありました。電動バイクは免許無しでも乗車できる為、外国人でも運転することが出来ます。ヘルメットは車両の籠に固定されているので気軽に利用できます。乗車の際も携帯からQRコードを読み取り決済が出来ます。



研修中はフードデリバリーサービスやインターネットショッピングを利用する機会もあり、留学生も含め多くの学生が利用していました。学生食堂を多く利用していましたが、フードデリバリーサービスも学校まで配送してもらえる為、多く利用しました。配送料は3元程度で、お店に並ばずに食事を注文することが出来るので非常に便利でした。インターネットショッピングは生活必需品や衣類、食べ物などを購入する際に利用しました。ショッピングモールやスーパーよりも安い値段で購入できるので学生が多く利用していました。学校内にはインターネットで購入した商品を受け取る専用の受取場所もあるのでスムーズに取引をすることが出来ます。



4 研修でのイベント・文化体験

研修中は石家庄市外事弁公室の方や石家庄学院の先生方と様々なイベントに参加させていただきました。中国で人気のあるアニメ展、自動車展示会、フルーツの掴み取り体験などのイベントに参加しました。自動車展示会では、最新のEV車が多く出店しており、実際に乗車することもできたため貴重な体験をしました。また、石家庄市周辺地域にある中山国や嶂石岩見学、北京市や西安市への視察をしました。北京市では世界遺産である故宮や中国国家博物館、西安市では兵馬俑を視察し食文化を学びました。西安市ではロバ肉やビャンビャン麺が有名で多くの店舗で味わうことが出来ました。



5 謝辞

石家庄市への派遣研修において、市役所職員の皆様、外事弁公室の皆様、石家庄学院教職員の皆様には研修期間中における全ての行程においてきめ細かな対応や手配をして下さり、大変感謝しております。私自身初めてとなる石家庄市への滞在でしたが、現地では大きなトラブルなく研修を修了することが出来ました。4カ月の期間で現地の方々と密に交流をすることにより文化共有をし、相互に理解を深め合いました。この研修での経験を今後の長野市と石家庄市の友好活動に生かし、さらなる発展の促進に貢献できるよう尽力して参ります。